

一般質問

これでいいのか！ 町政

一般質問は議員が町政全般について、現状や方針を問うものです。
一人あたりの持ち時間は答弁を含めて50分間です。今定例会では8人が登壇しました。
掲載している内容は質問者自身が要約し、広報広聴特別委員が校正したものです。
QRコードから、各議員の一般質問の映像をご覧ください。
また、会議録もホームページをご覧ください。

YouTube
(議会トップページ)



会議録



通告の順番により質問がされました

順番	議席番号	氏 名	通 告 内 容
1	10	五十嵐一夫	町長の政治姿勢について ほか
2	1	高久 敏明	まちづくりの方針について ほか
3	7	佐藤 宗太	町長公約について ほか
4	2	五十嵐孝子	新庁舎建設事業について ほか
5	6	小畑 博司	教育施設などの防犯対策をどのように考えているか ほか
6	8	五十嵐正康	庁舎建設と財政について ほか
7	5	横山 智代	2期目の古川町政について ほか
8	3	目黒 克博	町地域防災計画について ほか

議会を傍聴してみませんか？

手続きは簡単。受付簿に名前を書きだけ！
第3回定例会は、令和6年度決算の審議が行われます。



【令和7年第3回定例会日程（予定）】

9月	4日(木)	招 集 日
	8日(月)	一 般 質 問
	9日(火)	一 般 質 問
	12日(金)	決算特別委員会（一般会計）
	16日(火)	決算特別委員会（特別会計）
	18日(木)	最 終 日

※日程は変更になる場合があります。

〈お詫びと訂正〉 あいづばんげ議会だより 217号 11ページ上段 青木美貴子議員の空き店舗利用に関する問の答弁において、「平成7年度より」とありますが、「令和7年度より」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



いがらし かずお 議員
五十嵐 一夫

直ちに撤回を

入学祝金は選挙目当て

門出を祝い、応援することを目的としています

映像はこちら
から↓



問 町長選挙で公約に掲げた小・中学生の入学祝金はなりふり構わない政策で、当選すれば入学時に祝金ができる、にんじんをぶら下げるの集票で、選挙目当てである。

2年前の保育料改定では、保護者負担を30%から50%へ増やしたことにより600万円の収入増となり財源の増に寄与した。

今回の提案は約1千万円の町支出である。直ちに撤回するよう求める。

答 人づくり・少子化対策支援は町づくりにおいて重要な柱と認識しており、新たな取り組みとして、「小中学校入学祝金」を盛り込みました。

引き抜き基礎杭の内容は

杭長、5mから44mの杭が引き抜かれました

問 新庁舎問題審議不十分の中から、引き抜いた基礎杭の内容と、地盤への影響は。

答 杭は合計837本、28m以上238本最長44m171本。基礎工事費用が増額となる場合に

バス 時	
鉄砲町（内回り）	
行	坂下
6	
7	40 46 48 48 53
8	46
9	55
10	
11	36
12	49
13	55

坂下行きは、終点坂下でも經由地が3つに分かれる。どのバス停にも路線図が無いので、どこに行くのか分からない。

これも質問

図バスを中心とした公共交通。乗りやすくするための取り組み、乗っていただけるための取り組みをどのように工夫しているのか。乗っていただくための啓発は。

答 全体的なまちづくりを行うために有効と考えております。立地適正化計画の策定が必須であります。

問 は、建物の構造と基礎工事を合わせて調整を計ります。

庁舎建設については国県の補助がないが、国のコンパクトシティ政策に乗れば様々な補助や支援があり、もう一度立ち止まり冷静に研究する余地があるのではないかと。

問 新庁舎建設の住民説明会において、庁舎の移転後も現庁舎周辺地域のまちづくりは重要であるとの認識で、地域振興施設の建設を想定しているようだが、具体的な計画内容と今後どのように事業を進めていくのか伺う。

答 初市大儀引きなど祭りイベントの拠点、食、町巡りを通して住民同士や町を訪れた方々との交流、若者が様々な取り組みにチャレンジできる活動の場など、町民の方々の様々な視点や意見・要望を取り入れ、周辺地域の歴史的な文化・街並みと調和しつつ、人が集い、賑わい、時には心癒され、全ての町民の方々に愛着や誇りを持つていただける施設整備を、町民の方々と膝を交えた「対話」を通して思いを共有しながら進めてまいります。

コミュニティバスの試験運行の予定は利用者のニーズに合わせ本格運用に向け準備してまいります



たかく としあき 議員
高久 敏明

具体的な計画は

現庁舎跡地への賑わい拠点の整備は

令和12年度の着工を目指し町民の方々と対話を重視し進めて参ります

映像はこちら
から↓



問 今年度策定を予定している地域公共交通計画の策定について、今後の方向性と今年度実施予定のコミュニティバスの試験運行について伺う。

答 現状においては、鉄道・バスともに利用者数は年々減少傾向にあり、タクシーを含めた公共交通機関相互の連携によるネットワークを形成するなど、利便性向上による利用促進の取り組みを強化しなければならぬと考えており、持続可能な地域公共交通体系を構築してまいります。

また、子供から高齢者まで誰もが利用しやすい便利な公共交通体系を構築するにあたりコミュニティバスの運行が必要であると考えており、実証実験を行い、本格運用に向けた準備を進めてまいります。

これも質問

図坂下東第一土地区画整理事業の事業進捗の加速化について



さとう そうた 議員
佐藤 宗太

町の将来のため
古川町政2期目の公約の優先順位をどのように考えられているか
人づくり・少子化対策は早急に進めなければなりません

映像はこちら
から↓



問

町長選挙での公約をどのように考えておられるか。

答

第六次会津坂下町振興計画後期計画は、町の将来像である

「やっぱり ばんげ」がいい！住み続けたい、やりたいことがあふれるまち」の実現のため、まちづくりの方針として策定したものであり、私がいただいた4年間の中で後期基本計画に基づく各種事務事業を一つひとつ着実に実現していくことが、私の使命であると考えております。

公約における主たる施策を優先的に実施していくことはもちろんであります。目まぐるしく変化する社会情勢に迅速かつ柔軟に対応しながら、必要な財源の確保に努め、「やっぱり ばんげ」がいい！と言ってもらえるような魅力的なまちを築き上げてまいります。



ネーミングライツにより命名された「BMI 鶴沼球場」

問

財政健全化、施設の維持管理や町政サービスの向上のために、町有施設に積極的にネーミングライツを活用すべきでは。

答

本町に限らず、全国的に人口減少により税収が減額になっていくことが予想される中、公共施設の運営・維持管理費用の確保と、持続可能な財政構造を確立するためには、税収に限らず、多角的な財源確保を進めることが必要であり、より多くの施設で導入することが理想であります。公共施設に限らず、インフラ施設等での導入についても検討を進め、自主財源の確保に努めてまいります。

これも質問

関ふるさと納税について



いがらし かこ 議員
五十嵐孝子

時流にのって
新庁舎の木造化・木質化を！
費用対効果も検証しながら検討します

映像はこちら
から↓



問

国や県でも推進している公共施設の木造化の動きの中で、当町も地元の木材を使った庁舎の建設を考えてはどうか。

答

国・県においては令和3年10月に「都市（まち）の木造化推進法」が施行され、「ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン」が改訂されるなど、公共建築物には、広く住民の利用に供するものとして、木造化・木質化を率先していく役割が一層求められています。

森林資源の循環利用という側面、木材の特徴である環境への配慮、心理面・身体面での町民や職員への効果などを考えますと、十分に検討する必要がありますと考えております。

本町の訪問介護の現状について事業者の支援に取り組んでいきます

問

超高齢化社会により、今後ますます介護の需要は高まると推測される。しかし、それを支える介護事業者の倒産や廃業が増え、過

答

去最多を更新し続けている。そこで、当町の訪問介護はどのような現状にあるのか、ヘルパー不足の状況も含めて伺う。

本町には、訪問介護事業所が5か所あり、ヘルパー数は常勤・パートを合わせ61名おります。全国的な状況と同じく、課題も少なからずあります。具体的には、職員数の増員が困難であるため新規利用者の受け入れが難しいことや、男性スタッフが不足していること、50代から60代のパートのヘルパーが主力であり、若い職員が少ないことなどです。

現状や課題を、国や県に対して訴え、改善要望をしていくなど努めてまいります。



問 わが町の新規就農者は多い方だと聞いている。これからの就農は親元就農ではない方々も増える

答 新規就農の支援策は就農を希望する方々に寄り添った施策になっているか関係機関と連携し、最適な就農計画を進め、丁寧な支援を展開します

問 「子ども家庭庁」は「子どもの安全を守る措置」の運用指針として防犯カメラの設置が有効であるとの認識を示した。一方で職員の萎縮や、関係者のプライバシーの保護も考慮しつつ、様々なケースを想定した対策を必要としているが、どのように考えているか。

答 近年、教育施設における不審者の侵入をはじめ、児童生徒が巻き込まれる事件が全国で発生しており、学校現場における防犯対策は喫緊の課題であると認識しております。わが町では、来校者用玄関に防犯カメラを設置しており、不審者が侵入した場合に備え、「さすまた」やネットランチャー等の防犯用具を配置しております。また、幼稚園も含め、新たな事業に備え、実情に沿ったきめ細やかな対策を講じてまいります。



おばた ひろし 議員
小畑 博司

子どもの安全のために
教育施設などの防犯対策を
どのように考えているのか
防犯対策は喫緊の課題であると考えています

映像はこちら
から↓



固地域おこし協力隊の皆さんの起業や、定住は進んでいるか。

これも質問

さらには、経営開始までの大きな資金調達も必要になることから、町独自の補助制度につきましても研究を進めるとともに、国・県・JA等関係機関と連携し、就農希望者に寄り添った丁寧な支援を展開してまいります。

答 安定した収入が見込めない就業初期を、国の交付金制度を活用して支援してまいりました。しかし、例年、交付時期が遅れ、新規就農者の皆さんに負担をおかけしてきました。そこで、県と協議を重ね、今年度につきましては早めの交付を目指し、手続きを進めてまいります。

また、新規就農者は農業機械や設備の操作、栽培技術等の経験や知識を必要としております。そこで、一昨年に設立された「次世代農業者会」のなかに「担い手の育成・確保」に関する部会を設置して支援する体制を強化いたします。

問 庁舎建設費の総額が40億となっているが、予算削減の策を講じるべきではないか。

答 事業費の圧縮は必要だと考えております。現在は、木造化による補助制度の活用や、基礎工事費の削減、会議室等を災害時の対策本部や一時避難所として利用することにより緊急防災減災事業債を活用すること等を検討しております。今年度策定するDX推進計画では、新庁舎整備後の業務改善や働き方改革などの視点も含め策定する予定であり、相互に連携をとりながら新庁舎建設基本計画の策定を進め、町民や職員をはじめとする全ての利用者にとって安全で使いやすく、より質の高い住民サービスの提供と効率的な行政運営が可能な新庁舎となるよう進めてまいります。



いがし まさやす
五十嵐 正康 議員

策はあるのか
庁舎建設費予算削減の考えは
事業費の圧縮に努めてまいります

映像はこちら
から↓



町中の振興施設の創成について
住民の方々の居場所となる施設を目指してまいります

固国土調査について
固DXと一体化した庁舎建設計画の必要性について

これも質問

また、現在のところ、新たな図書館の設置の考えはありませんが、子どもから大人まで全ての年代に向けた図書の充実や、利便性の向上を図り、より多くの町民の皆様の学びの場、憩いの場として活用していただけるよう取り組んでまいります。

問 古民家を活用した「発酵文化・そば伝承館」の設置の考えや、図書館をキーワードにした地域振興策について伺う。

答 観光物産協会の蕎麦振興委員会を中心として、坂下町の蕎麦を、文化庁が実施している「100年フード」の認定に向けて準備を進めております。伝承館の開設を、活気と魅力があふれ人が集うまちづくりの実現に欠かせない取組の一つに位置付け、議論を進めてまいります。

問 古民家を活用した「発酵文化・そば伝承館」の設置の考えや、図書館をキーワードにした地域振興策について伺う。

答 観光物産協会の蕎麦振興委員会を中心として、坂下町の蕎麦を、文化庁が実施している「100年フード」の認定に向けて準備を進めております。伝承館の開設を、活気と魅力があふれ人が集うまちづくりの実現に欠かせない取組の一つに位置付け、議論を進めてまいります。



よこやま ちよ 議員
横山 智代

町長の考えは

2期目の吉川町政の福祉行政特に障がい者、高齢者についてどのように取り組むのか

地域生活に必要な支援・サービス等や相談支援の充実を図ります

映像はこちら
から↓



問 福祉行政についての町長の考えと加齢性難聴者の補聴器購入についての考えを伺う。

答 「福祉」とは、人が幸せに暮らせることにありと考えるております。

個人だけではなく、地域社会全体の幸せを高めることが大切であり、暮らしを豊かにし生きがいのある人生を支え、命を尊重することが重要であると認識しております。

障がいのある方や高齢の方が自立した生活を送ることができ、地域で安心して暮らせるよう、地域生活に必要な支援やサービス等の提供体制の構築や、相談支援機能の充実を図ってまいります。

また、加齢性難聴者への補聴器購入制度につきましては、まず高齢者における加齢性難聴の実情や社会参加の状況等の把握を行ってまいりたいと考えております。

小中学生は元気に登校できているか
不登校の小中学生は、増加傾向にあります

問 小中学生の不登校が全国で急増しているが、坂下町の子どもの現状と対策について。また、国が設置を進めている体育館への空調

答 設備の設置について伺う。本町の不登校の実態は増加傾向にあります。

また、夏休み明けの2学期から不登校になることが多く、ほとんどが長期化しております。

兄弟で不登校になる場合もあります。不登校になる要因は様々で、その要因が複雑に絡んだり、理由がはっきりしない場合もあります。教育委員会では、本人や保護者の考えを最優先に考えた支援計画により、支援してまいります。また「不登校はどの子にも起こり得る」という認識をもち、一人ひとりをよく見、小さなサインを見逃さず、早期に見てできるようにしてまいります。

児童生徒一人ひとりのよさや、可能性を少しでも伸ばすことができるよう、児童生徒や保護者の心の声に耳を傾け、寄り添いながら支援してまいります。

近年、気候変動の影響により気温上昇が顕著となっております。普通教室には空調が設置されておりますが、体育館については未設置となっております。令和7年3月に水道事業100周年を記念し、町水道事業から各学校体育館へ大型冷風機が無償貸与され、今シーズンより活用する予定となっております。

児童生徒一人ひとりのよさや、可能性を少しでも伸ばすことができるよう、児童生徒や保護者の心の声に耳を傾け、寄り添いながら支援してまいります。



めぐろ かつひろ 議員
目黒 克博

環境の変化に対応を！

町地域防災計画の改訂について問う

随時、町地域防災計画を見直し、防災・減災に取り組んでまいります

映像はこちら
から↓



問 防災教育における指導・課題について伺う。

答 小学校では「自然災害から身を守る」の学習において、「坂下学」のすすめ」で過去の災害の歴史を確認し、中学校では日本の地形・気候特色、自然災害と防災の取り組みや、特別学習で災害に対してどのように身を守るかを実際の訓練を通して学習を行っております。また3月11日に合わせて東日本大震災の記憶を繋ぎ、防災意識を高める取り組みをしてまいります。各施設についても、地域の状況に合わせた安全設計や危機管理マニュアルを作成しているところですが、環境の変化に応じて今後も定期的に見直し実効性のあるものにしてまいります。さらに幼児・児童・生徒らが自らの命を守るための主体的な行動を身に付けさせ、避難訓練後には適切な避難行動ができたか振り返り、話し合う時間を充実させ、自ら考え・判断・行動できる子供を育ててまいります。

問 展示中の蒸気機関車のメンテナンスと今後の管理について伺う。

答 展示されている蒸気機関車は、昭和48年に教育等の展示資料として、仙台鉄道管理局より無償で借り受け、管理については町の負担で行っております。現在は南小学校児童の協力を得て除草作業を実施しております。車両は腐食・劣化等が進んでおり、修繕には多額の費用が想定されることから、現在は安全管理上、柵で囲み一般公開は行っておりませんが、今後も蒸気機関車周辺の環境整備に努めるとともに、子供たちの情操教育・観光資源等に活用を図ってまいりたいと考えております。



町営駐車場に展示中の蒸気機関車